楠葉野保育所

さつまいもを育てたよ！

食育の年間目標

- 食べたい物は「おかわり」、食べたくない物は「いや」と表現する気持ちを受け止めながら思いを出すことを大切にする。
- 身体をしっかりと動かして遊ぶ事で毎日の食事が美味しく、楽しいものになるようにする。
- クラスの食育版や壁新聞などを通して食材の名前を知ったり、旬の食材を知ったりして興味につながるようにする。

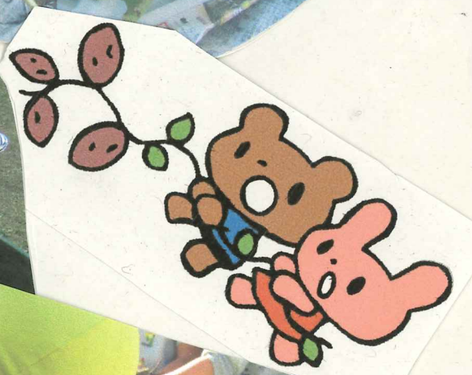
子どもたちが食材を身近に感じ、“食べること”が“楽しいこと”となるように今年は0～5歳児の全クラスで“さつまいも”を栽培しました。また、子どもたちが食育の活動を通して五感（見る・触る・匂いを嗅ぐ・音を聞く・味わう）を意識できるように、土づくり⇒苗植え⇒水やり⇒収穫⇒味わう と活動がつながるようにしてきました。

≪収穫したさつまいも≫

《さつまいも掘りの様子》

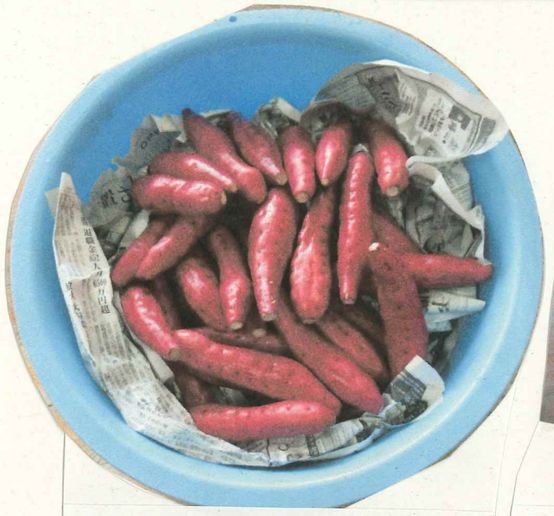
５月に植えた苗も、子どもたちが水やりをすると葉っぱが伸びていき、子どもたちも食物の生長を感じていました。

１１月には、いよいよ収穫です。自分の手で掘り、おいもを「見つけたー！」と嬉しそうに収穫していました。



収穫したさつまいもは、焼き芋パーティーで
ほくほくの焼き芋にして食べました。

収穫した野菜・季節の野菜をみんなでおいしく食べるために、園庭で焼き芋パーティーをしました。焼きたて・あつあつの焼き芋を友だちと一緒に「おいしいね」と言いながら食べました。



①さつまいもについている土をきれいに洗う

②新聞紙とアルミホイルでまく

③たき火の中に子どもたちが入れて・・
おいしくなぁれ！！

＼やきたてのお芋！おいしい／

《さつまいものクッキング》

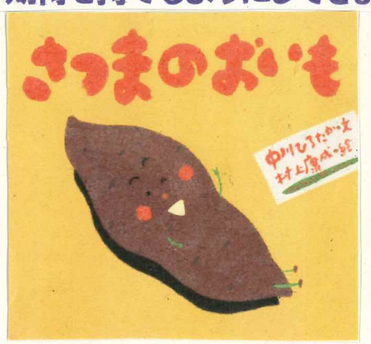
さつまいものバター焼きを子どもたちと一緒に作りました。

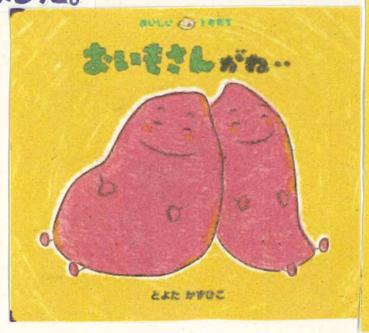
《お芋のツルでリースづくり》

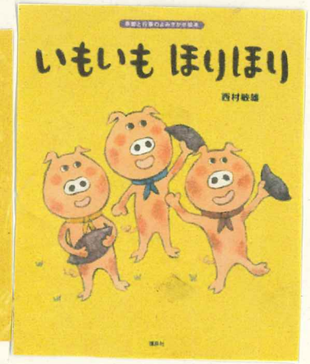
お芋のツルでリースを作り、
クリスマスの飾りにもしています。

《さつまいもの絵本》

収穫の前後には、さつまいもの絵本を読んで、収穫やお芋を食べることに期待を持てるようにしてきました。

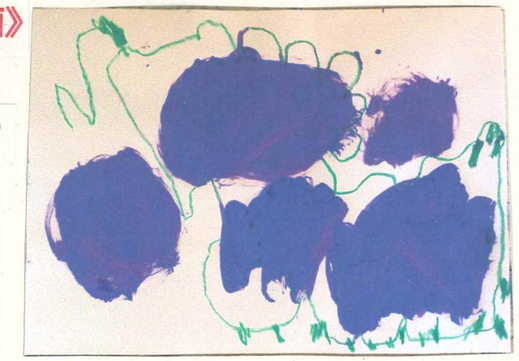






《さつまいもの描画》

収穫した喜びを
絵でも表現します



畑づくりも、さつまいもの収穫だけに終わらず、描画・うた・絵本・制作・クッキング等、色々な活動につなげていくことで、子どもたちがより一層“食べるこ”とが“楽しい”と感じられるようにしています。また、各クラスで調理手伝いをしたり、給食に入っている食材を見たりすることで、子どもたちが食材を身近に感じ、「食べてみたい」という気持ちが膨らむように取り組んでいます。

さつまいもの収穫を終えた畑は、また土づくりをして次は大根を育てています。大根汁パーティでは、収穫した大根をみんなで調理して味わいます。